



“ユマニチュード”
って知ってますか？



NHK「クローズアップ現代」「あさいち」で話題となった認知症ケアの新しい技法として今、注目を集めているのが『ユマニチュード』です。2007年に日本は、超高齢社会（高齢化率21%以上）を迎え、**認知症**という言葉に馴染みが深くなってきている現在です。その認知症の症状には、攻撃的になったり、徘徊したり、食事を取らなくなったりと様々です。このような状況にある認知症の方は『ユマニチュード』という技法を使用することで**魔法にかかった**かのように変化していきます。

この『ユマニチュード』はフランスのイヴ・ジネストとロゼット・マレスコッティの2人によって作り出され、“知覚・感情・言語”による包括的なコミュニケーションに基づく全人的なケアの技法です。

4つの柱として“**見る**：ただ見るのではなく相手の視線をつかみに行きます”“**話す**：話題がないときでも会話が続く方法があります”“**触れる**：飛行機の離陸・着陸のように触れましょう”“**立つ**：40秒立つことができるなら寝たきりは防げます”とあります。

新年度より、このユマニチュードの技法を用いるモデル病棟として4階病棟の地域包括ケア病棟より計画的に取り組んでいきます。そして、院内全体に展開できるように取り組んでいきたいと思ひます。

回復期リハビリテーション病棟 主任 定宗 華枝

かいた病院だより

東洋医学会研修施設の認定取得

家庭医療センター



2019年4月から頤田病院が東洋医学会の教育関連施設に認定され、当院で漢方の研修を行うことで漢方専門医の取得が可能になりました。家庭医療と漢方が同時に学べる施設は、全国的にみても少ないです。早速、堀之内先生が私の外来に陪席し、漢方専門医を目指すことになりました。

私は飯塚病院漢方診療科所属で、2013年から非常勤医師として頤田病院火曜午後の総合診療科の外来を担当しています。外来を続ける中で、院内の先生からの紹介や口コミで私の外来には小児から高齢者まで漢方治療を受ける方々が増加し、今では約8割の患者さんが漢方治療を受けています。プライマリ・ケア、家庭医療における漢方治療のニーズや親和性を実感します。漢方治療をご希望の方はご遠慮なく受診ください。

総合診療科（日本東洋医学会指導医） 吉永 亮

漢方診療には高校生の頃から興味がありましたが、なかなか体系的に学ぶ機会には恵まれず小さな勉強会に参加しては、少しずつ知識を増やしていました。医師として働き初めて、また当院でプライマリ・ケア外来をする中で、漢方診療の必要性をより強く感じるようになりました。慢性的な症状に対して、漢方診療を行うことで治療選択肢が増え、少しでも症状改善につながればという思いで研修を始めました。ありがたいことに今年度より当院で漢方診療の研修ができるようになり、漢方外来の陪席をさせて頂いています。この研修での学びを少しずつ日々の診療に還元していけるよう頑張りたいと思います。

総合診療科 堀之内 瑠美

床頭台リニューアルのお知らせ

2019年4月24日（水）より、病棟にてご利用いただいております床頭台を下記の通り、リニューアルをいたします。

これにより患者様より多くのご希望をいただいていた「BS視聴」と「冷蔵保管」が全室可能となります。

～リニューアル点～

●テレビ

- ・16型から19型へ
- ・BS視聴可能



●冷蔵庫

- ・容量20Lの冷蔵庫を新設

※冷蔵庫もテレビカードでご利用いただけます。



これからもより安心して快適な入院生活を送っていただけるよう取り組んでまいります。

ご不明な点等ございましたら、当院職員までお尋ねください。



転倒予防～介護予防の観点から～

前回のおさらいです。介護予防とは「要介護状態の発生をできる限り防ぐ(遅らせる)こと、そして要介護状態にあってもその悪化をできる限り防ぐこと、さらには軽減を目指すこと」でした。

介護予防においては、健康な状態であり続けるにはどうすればよいかを地域の皆さんで考え、高めあっていくことが重要とされています。各個人ではなく地域全体で取り組むのです。

ここではその第一歩として転倒とその予防についてお話します。

●筋力低下で転倒リスクが4倍に!?

■転倒リスクと危険度の大きさ



Rubenstein LZ et al, 2001より改変 ※危険度は、その原因を持たない人と比べて何倍危険かを表す。

●転倒から骨折、寝たきりへなりやすい

要介護と認定される原因は様々ですが、「骨折・転倒」は全体の約10%を占めなんとワースト5です。

■介護が必要になった原因



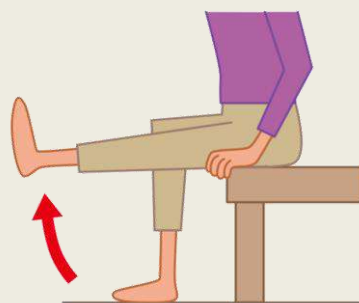
厚生労働省：国民生活基礎調査、2010

●筋力強化、バランス強化で転倒予防を実践しよう

筋力を強化する運動

大腿四頭筋のトレーニング

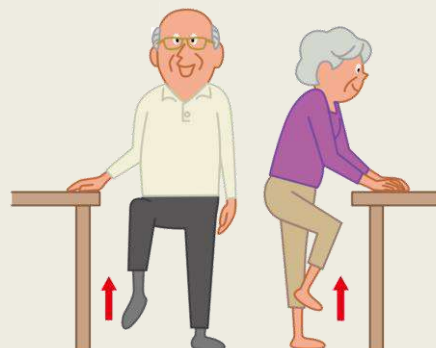
- ◆大腿四頭筋は立った時、膝を曲げず体を支える筋肉。
- ・イスに腰掛け、片脚を上げ、つま先を立てて5秒間キープ。
膝の上に力を入れるのがポイント。
- ・左右10回で1セット。朝夕3セットずつ。



バランスを強化する運動

片足で立つトレーニング

- ・転倒ないように、必ずつかまるものがある場所で行う。
- ・床に着かない程度に片足を上げる。
- ・左右1分間ずつ、1日3回。
- ※不安な時は、机に両手をついてもOK



【運動を行う際の注意点】

設定回数は目安です。
この運動で痛みが増すときは速やかに中止して、
診察の際に医師にご相談ください。

時事通信『予防医療のススメ』

こんにちは、額田病院総合診療科の長谷川順一と申します。
総合診療科というのは聞き慣れないかもしれませんが、小児から
ご高齢の方まで幅広く主に内科領域の疾患を診療しています。
どうぞよろしくお願いします。



季節はずいぶん春めいてきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。春になると季節柄もあってか、何かしら始めようと前向きな気持ちになる方も多いのではないのでしょうか。そんな皆様に今日は『予防医療のススメ』についてお届けします。

予防医療という言葉は聞き慣れないかもしれませんが、例えば予防接種、がん検診、生活習慣病予防などがあります。

予防接種はインフルエンザワクチン（全ての方に）や肺炎球菌ワクチン（65歳以上もしくは持病のある方に）などがあります。

がん検診は大腸（便潜血、大腸内視鏡）、胃（上部消化管内視鏡）、乳房（マンモグラフィ）、子宮頸部（子宮頸部擦過細胞診）、肺（低線量肺CT）があります。

生活習慣病では高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満、喫煙、飲酒などについて症状が無くても、より健康で長生きするために予防、指導します。ただし、症状や病気がある際の一般的な保険診療とは異なり、予防医療は原則自費診療です。市町村での健診など、無料のものや助成金があるものもありますので、主治医の先生と相談して上手に活用していきましょう。

総合診療科 長谷川 順一

「破傷風ワクチン」について

新年度いかがお過ごしでしょうか。暖かくなり週末のお出かけにも良い気候になりましたね。そういう時期にこそ気をつけたいのが怪我による「破傷風（はしょうふう）」です。

破傷風は世界中の土壌に生息している細菌（破傷風菌）による感染症です。感染すると4～12日後に顔面のけいれんや、口が開かなくなる症状が起き、全身のけいれんを起こして、最悪の場合には亡くなってしまう病気です。日本では毎年約100人が感染しており、稀ですが怖い病気です。

そんな破傷風ですが、ワクチンでほぼ100%予防ができます。日本では生後3ヶ月から60ヶ月の間に合計3回接種し、11-12歳でもう一度接種します。しかし1968年（昭和43年）より前に生まれた方（2019年現在で51歳以上の方）はこのワクチンを受けていません。また、ワクチンの効果は約10年程度です。そのため、

①現在51歳以上でワクチン未接種の方

②最後のワクチン接種後10年以上経過した方

に接種をお勧めしています。

また、傷を負ってしまった後でも接種により発症を予防できるので、特に屋外で傷を負われた方は早めに受診してくださいね。

季節の変わり目ですが、どうぞ体調に気をつけてお過ごしください。



総合診療科 木安 貴大

【診療担当表】※2019年4月15日現在

		月	火	水	木	金	土
総合診療科(午前)	初診	吉田 柴田 内山	西園 木安 内山	金 後藤 渡部	中安 北野 木安	茂木 桑原 後藤	当番制 (午前)
	再診(予約)	安田 長谷川 桑原	吉田 長末 渡部 北野	茂木 松本 井上	金 赤岩 中邑 上野	井村 渡邊 木安 大杉(偶数月)	
総合診療科(午後)	初診	赤岩	吉永(堀之内) 長谷川	渡部 (16H~長谷川)	堀之内	安田	
	再診(予約)	本田	-	本田	本田	-	
小児科	午前	家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	
	午後	赤岩	長谷川 近藤(月1)	渡部 (16:00~長谷川)	堀之内 一ノ瀬(要予約)	安田	
ワクチン(午後)		後藤(金)	-	-	木安(中安)	-	
外科		家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	
予約外来	整形外科(14:30-16:30)	-	非常勤医 ※紹介制	-	-	非常勤医 ※紹介制	
	内視鏡(予約)	-	茂木 (上部のみ/午前)	-	-	茂木(午後) (第2:15:00~)	
	甲状腺(第2水曜:午前)	-	-	萬代	-	-	
眼科(午後)		-	-	山中	-	-	
耳鼻咽喉科(第1・3・5) (9:00-12:00)		-	-	-	-	非常勤医	
禁煙外来		柴田 (午前)	-	-	後藤 (午後)	-	
婦人科(午後)		-	-	-	松岡 桑原	-	

診療時間

- ・午前 8:30~11:30 (月~土)
- ・午後 14:00~16:30 (月~金)

休診

- ・土曜(午後) 日曜 祝日 年末年始

お問い合わせ

医療法人博愛会 穎田病院
〒820-1114
福岡県飯塚市口原1061番地1
TEL 09496-2-2131 (代表)

レジデント修了式・新任医師紹介

ありがとうございました！

レジデント修了式

やすだ ゆういち
安田雄一

まつもと ともし
松本朋樹

たけまつ まきこ
武末真希子

おだ りゅうたろう
小田隆太郎



新任医師

ごとう じゅんいち
後藤淳一

しばた まさし
柴田真志

なかじょう たかゆき
中條峻志

うちやま かく
内山学



よろしくお願いいたします！

ICLS研修

2月27日（水）、3月6日（水）の2日間、看護師を対象としたICLS研修が行われ、当院医師よりスライドを使用してICLSの概要説明と異常の発見から救急搬送までの流れをグループに分かれて実践しました。

チームワークが必要な「急変時の対応」ですが、中でもリーダーシップを発揮することも重要で、各自の役割を明確にし、声を掛け合いながら連携を図る必要があります。

誰でも予期せぬ出来事に遭遇すると、動揺や緊張してしまい、正常な判断ができず、あたふたすることもあると思います。私たち医療従事者は常に冷静に対応できることが求められます。日々トレーニングを重ね、患者さんの生命の危機に対応できる看護師の教育を継続しています。

回復期リハビリテーション病棟 主任 定宗 華枝

